

令和6年度水産加工業等販路回復取組支援事業 採択結果

復興水産加工業販路回復促進センター

所在地		事業者	取組概要
宮城県	気仙沼市	株式会社ダイカ	製造のボトルネックとなっている包装工程を改善するため、真空包装機と金属探知機を導入する。このことにより、生産能力不足を補い、対応できなかった注文に対応できる体制を整え、販路の回復を図る。
	石巻市	有限会社ヤマコ佐勇水産	近年東北地方でも水揚げが多くなった真鯛・すずきなどの地元魚の商品開発を行い、さらに実績のある輸入魚の増産も行うため、立体型水圧式ウロコ取機、ステンレス製凍結棚及び重量選別機の導入を行う。これに伴い、増産体制を構築し、生産体制を整え、主力販売先へ積極的に提案することで販路の回復を図る。
		水野食品株式会社	重量選別機、フォークリフトを導入し生産性の向上や増産体制を構築し、フィレ等の1次加工品、漬け魚等の2次加工品の両方の注文に対応できるようにし、販路の回復を図る。
	塩釜市	ぜんぎよれん食品株式会社	慢性的な人手不足の対策として容器洗浄機を導入することで、3名の省人化を図り、その3名を他の加工ラインに再配置させ、処理能力を強化し従来困難だった加工を実現させる。さらに、衛生レベルも向上させ、顧客に安心・安全な製品を提供し、販路の回復を図る。
茨城県	北茨城市	まるむら商店	高機能かつ大型で簡易な操作で稼働する真空包装機を導入することで、生産量拡大を図る。また、機器導入により、作業量が軽減されることから、新たな注文への対応や新商品開発が可能となる。さらには、新たな顧客への対応を行うことで、販路の回復を図る。

※本事業は、水産業復興販売加速化支援事業交付等要綱（平成23年11月21日付け23水漁第1444号農林水産事務次官依命通知）に基づき実施する国庫補助事業です。